

2020年度  
社会人入学試験問題

小論文

奈良大学

社会学部 心理学科

## 問題

心理学は、下の図のように大きく分けて4つに分けることができます。

- ① まず、あなたが今、最も関心が強い領域を書いてください。(選択記入)
- ② その関心が強い理由を経験なども含めて書いてください。(200-300字程度)
- ③ 卒業後、日常生活や仕事に心理学をどのように生かしたいか現在の思いを書いてください。(200-300字程度)

### 生理・認知心理学領域

目には見えない心の働きを測定し、人間がものごとを認識するしくみに迫ります。仮説を立て、実験で証明し、科学的思考力を育成します。

生理・認知  
心理学

### 社会心理学領域

さまざまな人間関係の相互作用を解明し、活用を考える領域です。現代社会における問題のほか、日常生活の中の見落としがちな現象にも目を向けます。

社会  
心理学

### 発達心理学領域

子どもから大人になっていく発達過程はもちろん、青年期から成人期、老年期までを含めた、人間の生涯にわたる心の変化を見つめます。

発達  
心理学

### 臨床心理学領域

心に痛みを抱える人を支える臨床心理援助職の基礎を修得。社会や人間について深く学び、カウンセリングする意識を持って人と関わる力を育みます。

臨床  
心理学

### 【出題意図】

- ① 受験者がどの領域の心理学を学びたいのか、動機・目的意識を確認するため。
- ② 学びたい心理学の領域と自身の社会人経験を、どのように結びつけているか。
- ③ 卒業後の活用イメージをもっているか。

これらを通して学ぶ意欲・目的意識と自己の経験および将来への活用可能性を評価する。

### 【評価基準】

上記、出題意図を満たしているか。

### 【解答例その1】

#### ① 最も関心が強い領域

社会心理学

#### ② 関心が強い理由（経験なども含めて）

私は社会人として働く中で、同じ出来事でも人によって受け止め方や行動が違うことに関心を持つようになりました。特に、職場では部署間のコミュニケーションのすれ違いや、組織の雰囲気が個人の判断に影響する場面を数多く経験してきました。資料にもあるように、社会心理学は「さまざまな人間関係の相互作用を解明し、活用を考える領域」とされており、まさに私が日々感じている疑問に答えてくれる学問だと思っています。社会のなかで人がどのように影響しあい、どのような行動を選択するのかを体系的に学びたいことから、社会心理学に最も興味を持っています。(261字)

#### ③ 卒業後に日常生活や仕事に心理学をどのように生かしたいか。

卒業後は、社会心理学の知見を職場のコミュニケーションや組織づくりに生かしたいと考えています。

人は集団の雰囲気や周囲の行動に影響されやすく、時にはそれが誤解や対立を生むこともあります。社会心理学を学ぶことで、こうした現象を理解し、よりよい働きかけができるようになれば、より協力的で風通しの良い職場環境づくりができると考えています。また日常英勝においても、相手の行動の背景にある心理を理解することで、よりよい人間関係を構築できると考えています。社会心理学を学ぶことで、人と人が関わる場面において、よりよい関係作りに貢献できるようになりたいと思っています。(275字)

### 【解答例その2】

#### ① 最も関心が強い領域

臨床心理学

#### ② 関心が強い理由（経験なども含めて）

私はこれまでの社会人経験のなかで、職場のストレスや人間関係から、心身の不調を抱える同僚を多くみてきました。特に、悩みを抱えながら相談できずに孤立してしまう人が少なくなかったことから、心理学的支援の必要性を感じるようになりました。私自身も過去に仕事のことで心が不安定になった経験があり、その際に周囲の理解やカウンセラーの助言に助けられたことが、臨床心理学への関心を深めた大きな理由です。資料にもあるように「心に痛みを抱える人を支える臨床心理援助職の基礎」を学ぶことで、困難を抱える人に寄り添える基礎を身につけたいと考えています。(263字)

#### ③ 卒業後に日常生活や仕事に心理学をどのように生かしたいか。

卒業後は、臨床心理学の知識を活かし、日常生活や職場で周囲の人の変化に気づき、寄り添える人になりたいです。特に、ストレスを抱えて誰にも相談できずにいる人に対して、早期にサインを察知し、

話を聴いて、必要に応じて専門家へつなげられるように人なりたいと思っています。また、家族や友人との関係においても、相手の気持ちを理解しながらかかわることで、より安心できる関係づくりに活用したいと思います。資料にあるような「カウンセリングする意欲を持って人と関わる力」を育み、実生活でも周囲の人の心の健康を支えられる人を目指したいです。(257字)

### 【解答例その3】

#### ① 最も関心が強い領域

発達心理学

#### ② 関心が強い理由（経験なども含めて）

私はこれまでの仕事を通して、幼少期から思春期にかけての心の発達が、その後の行動や対人関係に大きく影響していると考えられるようになりました。特に、子どもが不安や葛藤を抱えたとき、その背景には発達段階に応じた課題が隠されているのではないかと考えています。発達心理学を学ぶことで適切な理解と関わりを学びたいと考えています。資料にも「人間の生涯にわたる心の変化を見つめます」とあるように、発達心理学は成長のプロセスを丁寧にみていく学問だと思います。職場で出会う子どもたちの行動の意味を、より深く理解し、かかわりの質を高めたいことから、発達心理学の領域に強い関心を持っています。(282字)

#### ③ 卒業後に日常生活や仕事に心理学をどのように生かしたいか。

卒業後は、発達心理学の知識を生かし、子どもや保護者に対して、より適切な支援ができるように生かしていきたいと考えています。幼少期から思春期にかけては、情緒の安定や自己の形成にとって非常に重要な時期であり、発達段階に応じた関わりが求められます。発達段階の特徴を学ぶことで、子ども

の行動の背景を読みとり、必要なサポートや環境調整を行いやすくなるはずです。また保護者への支援にも役立て、子どもを取り巻く環境を、よりよい方向へかたち作っていきたい、現場での関わりの質を高めるために、発達心理学の知識を生かしていきたいと考えています。(262字)

#### 【解答例その4】

##### ① 最も関心が強い領域

生理・認知心理学

##### ② 関心が強い理由（経験なども含めて）

私は社会人として働くなかで、緊張や不安が高まると判断力が低下したり、普段なら起こさないミスをしてしまった経験が何度かあります。また、同じ情報を見聞きしても、人によって受け取り方や反応が異なることに興味をもつようになりました。資料にもあるように、生理・認知心理学は「目に見えない心の働きを測定し、人間がものごとを認識するしくみに」迫る領域であり、日常の疑問を科学的に理解するための基礎になると考えています。生理的機能と認知の仕組みを体系的に学ぶことで自分自身だけでなく、他者も、より理解できるようになると考えており、生理・認知心理学領域に強い関心があります。(278字)

##### ③ 卒業後に日常生活や仕事に心理学をどのように生かしたいか。

卒業後は、生理・認知心理学の知識を生かし、仕事のミスを減らしてパフォーマンスの向上に役立てたいと考えています。緊張や不安がどのような身体反応として現れ、それが判断や集中力にどう影響するのかを学ぶことで、それを予防するにはどうしたらいいのか、仕事に生かしていきたいと思っています。また認知のゆがみや思い込みなどを体系的に学ぶことで、コミュニケーションにおける誤解を減ら

し、より合理的で柔軟な判断ができるようになると考えています。資料にある「科学的思考力を育成します」という学びを実生活や仕事に生かせる社会人を目指したいと思います。(264字)